東大阪

発行所
株式会社 東大阪新聞社
第7052号
〒577-0802
東大阪市小阪本町 1-1-7
エフエスビル２F
TEL 06-6720-4601
FAX 06-6720-4603

八尾柏原支社
〒581-0013
八尾市山本町南 6-2-29
TEL 072-926-5134
FAX 072-921-6893

東大阪・八尾
柏原の地域紙
購読ご希望の方はお気軽にお電話下さい

地球が運動場

花園中央公園

EARTH FRIENDSHIP FESTIVAL 2022

〝地球が運動場〟を合言葉に、世界中の子どもたちが「スポーツ」「音楽」「食」を通じてお互いの文化を体感し、平和な世界を実現するためのこころを創造するイベントEARTH FRIENDSHIP FESTIVAL（アース・フレンドシップ・フェスティバル）2022が11月23日に花園中央公園（東大阪市松原南1）で開催された。

平和な世界実現

国際サッカー試合・エンタメフェス・マルシェが同時開催されたこの日、小雨にもかかわらず午前中から多くの来場者でにぎわった。奈良・京都・愛知をはじめ、在日ブラジル人チームや海を越えてタイ王国などから来阪した12歳以下の8チームによって行われたサッカー国際交流試合では、優勝チームが水内猛氏、森崎浩司氏ら元Jリーガー、日本代表を含む11人の「レジェンドチーム」と対戦。

優勝チームがレジェンドチームに挑戦

初代アンバサダー「イロハサクラ」が盛り上げる

おなじみのキッチンカーによる選りすぐりの食材や楽しいワークショップに長蛇の列ができるなか展開されたエンタメフェスでは、日本各地から参集したシンガーソングライター・和太鼓・殺陣・マジック・ファッションショーなど24組が会場を沸かせた。

伝説のパス回しに果敢に挑む児童らに大きな拍手が送られた。

終盤、風雨が激しくなるなか、キレッキレの歌とダンスで会場をひとつにしたEARTH FRIENDSHIP FESTIVAL初代アンバサダー「イロハサクラ」メンバーの天谷桃寧さんは「あいにくのお天気でしたが、無事に開催でき、出演して下さったアーティスト、支えて下さったスタッフの方々、来場して下さったみなさまに感謝します」と笑顔で話した。

同じくメンバーの咲良木愛波さんは「同じ地球上で大変なことが起きるなか、日本だけでなく、世界中の子どもたちとふれあい、たくさんの笑顔が輝くイベントにしたい」と未来に向けての抱負を語った。（池内文藏）

テセレーションの世界

楽しみながら図形に親しむ

小学生向け〝敷きつめ図形パズル〟教室「『エッシャーパターン（テセレーション）を作ってみよう！』T3パズルワークショップ」が12月4日、大阪商業大学ユニバーシティコモンズアクト（東大阪市御厨栄町1）で開かれた。楽しみながら図形に親しむことで、数学に大切な図形認識能力を高めることを目的に、日本テセレーションデザイン協会の荒木義明代表と同協会メンバーで大阪商業大学の谷岡一郎学長が講師を務めた。100人以上の応募の中から抽選で選ばれた30人の小学生が78枚のT3パズルを使って様々な模様の作品を作った。（中野善典）

T3パズルを楽しむ小学生

T3（ティースリー）パズルとは、表裏で柄の異なる正三角形の単1ピースをたくさん敷きつめて描くパズル。並べ方を変えることで様々な形ができあがる。

ワークショップが始まると、青と白の2色入りの正三角形のT3パズルのピース2枚を使い、「何ができるかな？」と荒木代表が問いかけた。「ひし形！」「平行四辺形！」と小学生の声。「じゃ、今度は6枚を使って6角形をつくってみよう」。荒木代表は、作業中の小学生に寄り添い、「いいねー」、「すばらしい」、「統一感があるねー」と小学生に語りかける。

親子一緒になってそれぞれ好きな形を作る時間も。「いろんな答えがあっていいんだよ」と優しく語りかける谷岡学長。「ウサギの耳」、「雪の結晶」、「雨の中を走る車」など、発想豊かな作品ができ上がっていく。クリスマスツリーを作った小学3年生の女の子は「ツリーの鉢を作るのが難しいです」と話しながら、親子で楽しくパズルを動かしていた。

パズルが貼れる壁にも独自の形を作る子どもたち。

「チョコレート入りのアイスクリームだね！」と谷岡学長の笑みがこぼれた。

ワークショップ終了後、荒木代表、谷岡学長に話を聞いた。

―ワークショップを終えての感想は？

谷岡学長　見たこともないデザインを作る小学生もいて、子どもの発想力はすごいと感じました。

荒木代表　ここ数カ月は全国を回ってほぼ毎週今回のような活動をしています。来週も横浜や栃木などビッシリ予定が詰まっています。ただ、ここ大阪商大はT3パズルの発祥の地なので特別ですね。

―谷岡学長がT3パズルを考案されたとのことですが、きっかけは？

谷岡学長　神戸芸術工科大学の理事長をしているのですが、2014年頃レーザーカッターの機械を導入しました。その際、ツートンカラーのアクリル製の三角形を作ってくれないかと頼んだところ、100枚ほどできあがり、自宅でそれらを使って遊んでいたら、これがおもしろいんですね。それをテセレーションの仲間に見せて子どもたちにやらせてみたら、〝奇妙きてれつ〟なものを作るのです。それがきっかけですね。

私はアミューズメント産業研究所の所長でもあるので囲碁やパズルなどを研究していますが、今まで誰もこのようなパズルを開発したことがないということに気付いたときには驚きましたね。

〈谷岡学長は、子どもたちが作った作品を集めた「正三角形『富士山（F）』と『カキ氷（K）』・デザインブックwith a focus on METAMORPHOSE：〝FK15〟」を2015年に出版している〉（つづく）

おかげさまで90年
東大阪新聞は令和4年に
創刊90年を迎えました

風を読む 48

2022年 世界の動き

大阪商業大学総合経営学部教授
経済学博士　中津孝司

福祉の前に国防が重要

一昔前、俗に大物政治家と呼ばれる先生方が永田町で睨みを利かせていた。良い意味でも悪い意味でも大物だった。悪事のスケールも大きかった。しかしながら、その後継者たちは小粒化し、大物はいなくなった。「鶴の一声」は死語になったのか。

三流雑誌は些末なことを大げさに報じ、購読者拡大に余念がない。マスメディアも視聴率のことばかりを心配する。挑発的なヘッドラインが踊り、偏狭な世論が形成されていく。さながら小粒政治家とメディアとの下手くそな協奏曲のようだ。いつからだろうか。日本のニュースには興味が失せてしまった。

国際化、情報化といった用語は学生時代からあった。にもかかわらず、21世紀の今日に至っても日本国民は国際情勢に疎い。外交は票にはつながらないことも事実だろう。だが、大量破壊兵器を保有するロシア、北朝鮮、中国に日本列島が包囲されている現実から目をそらすことはできない。

日本国民の生命と財産を守り抜くためには重装備の国防が不可欠である。敵国の軍事施設を破壊できる軍事力を保持することも躊躇（ためら）ってはなるまい。日本だけが平和を享受できる時代は終焉を迎えた。「プーチンのロシア」によるウクライナ軍事侵攻を教訓として、日本も腰を据えて防衛力強化に取り組む必要がある。中国共産党政権は台湾武力統一を明言している。

軍事力整備には財源が欠かせない。国民の生命と財産を守ることが一義的な目的であるから、消費税率を引き上げて財源を確保することが主道だろう。ところが残念ながら、消費税率引き上げを口にする政治家はいない。福祉も大切である。しかし、日本国が存立して初めて、福祉政策は成立する。

日本政府は自国のエネルギー安全保障のために、ロシア極東の資源開発事業「サハリン・プロジェクト」の権益を死守すると繰り返す。だが、「サハリン1」からは米石油大手エクソンモービルが、「サハリン2」からは英石油大手シェルがそれぞれ撤退している。エクソンモービルとシェルが事業から撤退することは技術者の撤収と同義。経済制裁で必要な部品を入手できなくなった今、油田・天然ガス田施設の部品交換やメンテナンス作業は不可能となる。結果、産油量、天然ガス生産量は確実に低下していく。権益を死守し、エネルギー安全保障に寄与するという前提が崩壊してしまう。「サハリン・プロジェクト」に執着する意義は見当たらない。

国家安全保障やエネルギー安全保障は揃って、日本国存立に直結する最重要国家課題である。ところが、野党やメディアが与党に訴える姿を一度も見たことはない。「サハリン・プロジェクト」からの撤退や権益売却の必要性を説く見解を聞いたことがない。福祉の前に国防が重要、そのための財源確保には消費税率引き上げが欠かせないと主張する野党議員や報道の声を耳にしたことはない。野党やメディアの論調は大臣の首を飛ばすことに終始している。恥を知れ。

3年ぶり 8回目の開催

青少年 夢 スピーチコンテスト

最優秀賞の
山本ゆずほさん

優秀賞の
横山大賀さん

それぞれの「夢」実現にむけてがんばる中学1年生から25歳までの青少年を対象とした青少年「夢」スピーチコンテスト（一般財団法人青少年夢応援隊主催）の決勝大会が12月4日にオンラインで開催され、予選を突破した12人のなかから特別賞・優秀賞・最優秀賞に輝いた7人の若者たちが喜びの声と実現に向けてのさらなる決意を語った。

コロナ禍を経て3年ぶりの8回目の開催となった同コンテストは、身体障がい者の青少年も応募ができるようTikTok、Instagram、Twitterなどの1分間動画で公募され、決勝では、シンガーソングライター・ラジオパーソナリティなど幅広く活躍し、この度新たに代表理事に就任した川上実津紀さんと、NPO法人夢検定協会の代表理事で先ごろ東久邇宮文化褒章を受賞した琵琶博之さんが司会・進行を務めた。

今回より新たに設けられた「特別賞＝賞金10万円」には、コロナ禍で入学式や成人式がなかったミレニアム世代のための「卒業甲子園」を企画する福田敦也さん、日本語教師となっていまだ戦禍のなかにある故郷ウクライナと日本の架け橋になりたいとがんばるパヴルンコワ・ソフィアさん、まちづくりについて学術的な研究を進めるために大学院に進学する塚本健太さん、地元徳島をブランディングし、エンタメで地方に革命を巻き起こす香川紘輝さん、モノが余っている企業と欲する団体を結ぶ物流プラットフォームでSDGs社会の実現を目指す関芳実さんの5人が選ばれた。

つづいて発表された「優秀賞＝賞金50万円」には、親友の自殺や、生活していた軽トラックの爆発炎上事故という絶望を乗り越え、21世紀を代表するファンタジー作家になって自分と同じような境遇で苦しむ少年少女らに笑顔をとどける夢を描く横山大賀さん。

そして、栄えある「最優秀賞＝賞金100万円」には、コロナ禍でクラシック・オペラ鑑賞の機会が激減した子どもたちを招待して京都の旭堂楽器店サンホールでリサイタルを開催する声楽家の山本ゆずほさんが輝いた。

審査員を務めた村上美文理事は「最終選考に残ったみなさんの社会的関心の大きさや前向きさに審査員一同胸を打たれ、かなりの論戦になった。受賞者の夢の実現に向けた取り組みに期待するとともに、10年、20年先には世界を牽引しているであろうみなさんにコンテストへの応募を呼び掛けたい」と熱く語った。（池内文藏）

晴耕雨読

Jアラートで「空襲意識」を

まだ撃つのだろうか。ミサイルの発射実験ではなく実践訓練だという。核実験も時間の問題だ。日本海は軍事演習場になったかのようだ。

アラートは「予期せぬ事態」を、アラームは「事前に承知している」ことを知らせる。目覚まし時計はアラームだ。

仙台の友人から「スマホなどで受信はしたが避難するなどの対応をした人はほとんどいなかった」と言う。

「スマホからの警報音に慌ててテレビをつけました。『頑丈な建物やガラスから離れて！』と連呼、助からないかも、諦めるしかない！　外国のように住宅の地下に避難場所があるならば、まだしも…」

そして、「普段から平和ボケした自分ですが、連日のミサイル発射について国の対応・対策のないことに怒りを感じています」と嘆く。

Jアラート（全国瞬時警報システム）は弾道ミサイル発射や緊急地震速報など、対処に時間的余裕がない事態に関する情報を国民に伝えるシステム。2014年に国民保護法の施行を受けて07年に運用が始まった。

問題は「避難してください」だ。政府はミサイル攻撃などで生じる爆風などから一時的に身を守るための緊急一時避難施設の確保を急いでいる。先ほど大阪市は地下鉄駅舎99カ所を指定、市内の地下施設103カ所を含む計607カ所に上る。

Jアラートの度に、一定時間をおいて全国民向けに発射事実を伝えながら避難場所や避難行動（特に車の場合は燃料引火・爆発火災を防止のため降車）など具体的な行動を周知させることで「空襲意識」を持ちたい。

何をやっても無関心、無対策、無反応では敵の思うままだ。NHKよ！　おバカさん番組を整理して国民保護の面からもひと肌脱いでもいいのではないだろうか。

2022・12・15

COBO
COBO DESIGN CO.,LTD.
デザインのチカラ
株式会社 コボ
〒466-0855 名古屋市昭和区川名本町 2-58-4
TEL：052-763-7166　http://www.cobodesign.co.jp

株式会社 カナオカ機材
代表取締役社長 七里和昭
〒577-0033 東大阪市御厨東二―十―一
電話（〇六）六七八七―一四四〇

株式会社河内鉄工所
自社製作金型による品質管理・短納期対応
自社ブランド商品を積極的に開発・販売
（サーモセンサー付き足踏み式消毒液スタンド）
代表取締役社長 河内修
堺市堺区北庄町３丁１―17
TEL 072―221―4455

ゴルフシミュレーションスタジオ
フリアード 室内ゴルフ練習場
◆365日利用可能（午前5時～午後12時）
◆ハリウッド映画のクオリティ映像
◆世界170以上の有名ゴルフコース
◆予約・決済・施錠までスマホ一台で完結
株式会社藤原電子工業ゴルフ事業部
八尾市南木ノ本2―52
TEL 072-991-3927

明るい・楽しい・アットホームな教習所
運転免許取るならYAOKYOで！
八尾自動車教習所
八尾市高安町南七丁目二十一番地
☎(072)999―1234
HP：http://www.yaokyo.net/

まかして安心・安全
高圧電気設備の保守点検は
大阪電気保安協同組合
八尾市太田３丁目２１７―11
TEL 072―949―3125
TEL 080―3809―7065
（担当：大澤）

あなたの家がどこかに残るように
ボグダン・パブリー 著
日本で20年暮らすキーウ出身の詩人が、故郷であるウクライナに思いを馳せながら書いた詩をまとめて1冊にした。今のウクライナを予見する内容に驚かされる。日本語・ウクライナ語対訳。
発行：ドニエプル出版
発売：新風書房
定価：2,970円（税込み）
A5判62頁上製本　978-4-88269-925-5
ドニエプル出版（TEL 072-926-5134）

大雨　洪水　津波　台風
こんな時の必需品
災害時対応の「人引車」
監修　NPO法人 災害避難研究所
企画開発　大興産業株式会社
製造　マツモラ産業株式会社
TEL 072-925-3450
立命館大学 DMUCH 歴史都市防災研究所との共同開発！

コンゴの人びとや子どもたちに
愛の贈り物を届けよう
2022 クリスマス募金にご協力をお願いします
ハンガーゼロ（日本国際飢餓対策機構）は、2022年のクリスマス募金の受付を開始しました。
今年は、アフリカのコンゴ民主共和国における農村部の食料自給の取り組みや都市部の孤児、ストリートチルドレンへの給食、紛争が続く部族間の和解プログラムを支援します。これらの活動は現地パートナーのハンズ・オブ・ラブ・コンゴ（HOLC）を通じて実施中です。
農業プロジェクト　給食プログラム　和解のプログラム
ハンガーゼロのウエブサイト
クリスマス募金の参加方法
① ハンガーゼロのウエブサイト（www.hungerzero.jp/）から世界食料デー募金ができます。
② 郵便振替　00170-9-68590 日本国際飢餓対策機構【記入欄に「クリスマス募金」と明記】

西ウクライナ避難所作りのための寄付のお願い
ロシアによるウクライナ侵攻で多くのウクライナ人が国内外で避難を余儀なくされています。しかしながら、戦争が長引き、さまざまな理由により国外に避難したウクライナ人が次々と母国へ帰っています。
そこで、当協会では、現地のNGOドブロダーリと協力し、比較的安全な西ウクライナに避難所を作ることにしました。
つきましては、寄付を募っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。
日本ウクライナ文化交流協会
TEL 072―926―5134
銀行口座　三井住友銀行・八尾支店
（普）2012746　名義：日本ウクライナ文化交流協会

ウクライナのアイデンティティ
ウクライナ避難民に「情報」伝える
毎月第1・3土曜日の19時30分（再放送は第2・4水曜日14時）
インターネットでも聞けます
https://www.jcbasimul.com
提供：日本ウクライナ文化交流協会
FMちゃお（79.2MHz）

ゲームシナリオ入門
基礎知識から設定・キャラクター・プロット・テキストの技法まで
北岡雄一朗 著
2,728円（税込）
ISBN 978-4-297-12203-4
株式会社 技術評論社
東京都新宿区市谷左内町21-13
☎03-3513-6150
https://gihyo.jp/book

今更ながら 古道暗越奈良街道を歩く

東大阪の生活文化の歴史を探る旅

霧山文三郎（作家・歴史研究家）

第9回　松原宿とお伊勢参りの流行

暗越奈良街道は中央環状線を渡る辺りで府道702号線と重なり、かき消される。今回は近鉄奈良線「若江岩田駅」から北に歩いて、街道が府道から南へと外れる区間に足を進めよう。その区間の真ん中辺り、府道「菱屋東」交差点の丁度南になるが、そこに八府道に合流したかと思うと、今度は府道の北側を街道が進むことになるが、そこでも「菱江おかげ灯籠」が「もてられている。

さらに東に歩くと、また府道に合流し、「花ちの木地蔵」の横に建（癌封じの地蔵）があり、北端に往時の道標がある。玉造から松原園ラグビー場東」の信号を北に入って、住宅地の中の狭い道を曲がりくねりながら進むと、南北に真っ直ぐの道に出るが、そこが街道の公認宿場、松原宿の跡である。両側の町並みは、往時は茅葺きの宿場だったと思われる（2007年に撮影された写真には、一軒だけ茅葺きの家が写っている）。

道沿いに延命地蔵（癌封じの地蔵）があり、北端に往時の道標がある。玉造から松原

松原宿跡を歩く筆者

菱江おかげ灯籠

年間5百万人が参拝旅に

菱屋東新田だった。境内に伊勢講（お伊勢参りをする団体）の人びとが建てた「おかげ灯籠」がある。そこから住宅地の中、狭い道を東へと進み、「菱江」交差点で江おかげ灯籠」が「もちの木地蔵」の横に建てられている。

さらに東に歩くと、また府道に合流し、「花

を結ぶこの街道は、大和川付け替え以降に往来が顕著になったと考えるべきで、中河内が沼や川の多い低湿地だった以前なら、もう少し南側、勝山通りと六万寺を結ぶライン上を人びとが往来したとみるべきだ。だからこの奈良街道の賑わいは、大和川の付け替えと大きく関わっていて、そしておかげ灯籠が並ぶのでも分かるように、江戸時代以降の庶民のおり伊勢参りの大流行とも深く関わっているのである。

「16世紀のポルトガル宣教師、ルイス・フロイスは、伊勢の神のもとへ日本各地から巡礼が集まり、伊勢に参らない者は人間でないと思われる、と本国宛ての書簡の中で述べています。…伊勢参りには、村や信仰集団である講の構成者がクジ引きや輪番で村や講を代表して参詣するものが多く見られました。…無事参詣を終えた人たちは、…精進落としと称して名物料理を食べたり、妓楼にあがったりなど、旅の解放感を楽しみました。…おかげ参りは、御蔭年に民衆が集団で参詣するという形をとります。江戸時代、伊勢神宮の大麻が降るとして始まったといわれています。約六十年周期で流行したといわれ、多い時は年間五百万人ともいわれる人々が着の身着のままで、沿道の人々の喜捨や施行を受けながら参拝旅をつづけたわけです」（池田雅之・辻林浩編著「お伊勢参りと熊野詣」かまくら春秋社から引用）

科学文明の中に生きる現代人には、江戸時代の人びとの信仰心や心情をそのままに理解することは困難なことであるかもしれない。

次回は純粋な信仰心をもって自然を見ていた古代人が生きた時代の、石切・枚岡付近を見てみよう。

ミスター自分史の自分史 15

「画ばさみ」が語るタクちゃん

新風書房代表　**福山琢磨**（88歳）

中卒時のタクちゃん

自分で収穫した野菜を持っていく

本家は港の近くにあり、総赤瓦葺きの2階建ての豪邸だった。父は本家の心をぎゅっと包み込んでくれた。

従弟の逸男君ともよく遊んだ。

東郷池には港に木造の手漕ぎ船（幅1メートル、長さ3～4メートル）を係留してあり、池の対岸は一面が梨畑で、20世紀梨の本場であった。山の傾斜がなだらかで、肥料、剪定、袋掛け、収穫などの作業に最適だったのである。

特に好天に恵まれた秋の風景は紅葉にも恵まれ、孤独だった若者さった。

従弟の逸男君ともよく遊んだ。

東郷池には港に木造の手漕ぎ船（幅1メートル、長さ3～4メートル）を係留してあり、池の対岸は一面が梨畑で、20世紀梨の本場であった。山の傾斜がなだらかで、肥料、剪定、袋掛け、収穫などの作業に最適だったのである。

特に好天に恵まれた秋の風景は紅葉にも恵まれ、孤独だった若者

重要だった二十世紀梨の剪定作業

果樹園の作業の中で特に重要なのが剪定作業だ。

果樹などの枝の一部を選んで接ぎ木（剪定）をする。

果実が実り過ぎないよう、また樹木を寒さから守るためのコモ巻きもしてやる。

冬は冬なりのファッションをしてやることも大切である。純白の冬山に赤い林檎の樹形が輝く姿は樹形のファッションショーである。年季がものをいう。

もうひとつ、地形と土質が優れており、日当たりや水はけもよかったのである。

「鳥取県は20世紀梨の名産地」と言われたが、なかでも「東郷」の品種は「元師」と並び、名門であった。

品種改良は、交配と接ぎ木である。交配は花粉でチョウチョやミツバチがやってくれる。

接ぎ木は数年で成木になった樹木を選ぶ。小枝の途中を切断し皮から1ミリぐらい入った樹皮の部分をナイフで3～4センチ切り裂き、その間に薄く削った樹木の樹皮を挟み込み、樹皮やツル（小枝）などでくくるのである。

覚えたら簡単だが、技術を要するので、プロの手を借りることをお勧めする。鋭利な刃で樹木を切り開くので怪我をしないよう、細心の注意が必要である。

（つづく）

笑える税金教室 36

税理士　上西　知

国の政策にもの申す

私は最近の税制改正は評価していません。国の政策がよく考えられていないと思うので。議論されて作っているのか、現場の声を聞いているのかと感じます。今年から電子帳簿保存法が施行される予定でした。電子取引の領収書はデータ保存することになっていたのです。しかし、周知が悪く気がついたときには、あと数カ月となっていました。我々税理士は情報を拡散する役目を担っていて、法改正があればお客様に周知しなくてはなりません。業務の合間を縫って、お客様に順番に連絡を入れている税理士もいたところ、年末のギリギリになって延期されました。税理士が頑張った意味がなくなったのです。

インボイス制度が来年の10月から始まることになっていますが、申請用紙も途中で変更されます。意味が分からないことが申請用紙に書かれているところもあります。申請や申告の用紙は、素人でも理解して記載できるように配慮されていたものです。その用紙が混乱を招いています。税理士もそうですし、納税者も分かりません。そこでインボイス相談センターに聞くと、所轄税務署に聞いてくださいと言われる内容もあります。税務署に電話すると、今度は相談センターに電話してくれと言われます。また、最近の税制改正には国税庁がQ&Aを配信します。しかし、このQ&Aもやたらと追記したりされるために、いつの時点のものを読めばよいのか、また読み直しをしなければ間違ったアドバイスをすることになります。

さらに今、コロナ政策の影響や、世界的な物資の高騰等で事業者は苦戦しています。もう廃業された方もいます。そしてまたインボイスの改正の話があがっています。インボイスを改正すると、一度連絡したお客様にもう一度連絡して作戦の練り直しになる可能性もあるので、振り出しに戻されてしまうのです。そんなか、増税の話もでています。

場当たり的な政策になっていないでしょうか。

子育てエッセー⑬

心のゆとりをつくろう

BYBS非認知能力育児コーチ　**東口　るみ**

年末が近づくと時間がなくイライラしやすくなります。

そんな時は時間がないのではなく、心のゆとりがないのかもしれません。

毎日忙しくて時間がないと思いがちですが、ママが本当に求めていることは時間よりも心のゆとりではないでしょうか。

子どもが産まれてから、子どもファーストになり過ぎて自分のことを後回しにするのが当たり前になっていませんか。

お風呂にもゆっくりつかる時間もなくて、また、自分が食べたいものよりも子どもの好みにばかり合わせてしまったり、自分にお金をかけることに罪悪感を感じてしまったりと…。優しい人や完璧主義な人ほど自分に我慢を強いてしまいます。

そうすることで、いつの間にか心にゆとりがなくなり、イライラしたり時間に追われたりするような気持ちになるのです。

そして、心のエネルギーがなくなってしまいます。

十分に頑張っているからこそ、1年のご褒美に、口紅を買ってみたり、香りの良いシャンプーを買ってみたりと自分を労わってあげてくださいね。時間がない、イライラするときこそ、自分を喜ばすことを試してみてください。

老成学のすすめ③

インフルエンザとコロナに負けない

認知症ケア指導管理士　**小野田　隆**

1回笑うと1日若くなる、笑いすぎると若くなりすぎる！

ホホハハハ、ホホハハハ、イエイ♪

とにかく笑いましょう。ホホハハハ、ホホハハハ♪

おかしくなくても笑うとエンドルフィンがでます。それが若返りホルモンです。

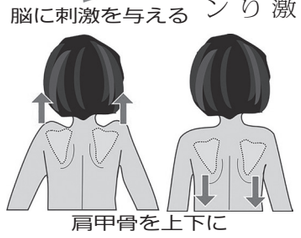
1回笑って1日若返りましょう。

今から冬になります。冬のインフルエンザとコロナに負けないためには、自分の免疫力獲得が必要です。

寒さに対応するには、拍手して手のひらを温めることからです。パンパンと両手を10回叩きましょう。

次に両脇を締めて両肘で、胸の脇をトントンと叩きます。5回トントンと1日5回以上します。リンパが刺激されて血流もよくなります。トントン、トントンです。

脳に刺激を与える


肩甲骨を上下に

①スクワット運動

両足を肩幅に広げて腕は前に伸ばす。ゆっくりと腰を落とす運動を15回します。

②つかまりカカト落とし

椅子か机につかまり、ゆっくりと両足のカカトをドンドンと上下します。15回めどです。

①②が筋トレの王様と言われる動作です。筋力の老化を食い止める第一歩です。

お尻の穴を締めて、背筋を伸ばしてスクワットと筋トレに励めば、インフルエンザも怖くありません。

③肩甲骨を上下に

肩甲骨を上下すると、体が温まります。背中も伸びます。両肩の肩甲骨を上下、前後に8回動かしましょう。

筋肉の筋肉細胞は48日で入れ替わるので、常に筋トレが大切です。この筋肉を増加させるのは、運動と食事です。

運動は有酸素運動の歩くことです。ゆっくり散歩がお勧めです。次に食べ物で大切なのは、タンパク質です。タンパク質（魚、肉、大豆、乳製品など）が筋肉を作り、身体の老化を防ぎます。

タンパク質が不足すると、免疫力低下や骨密度低下、脳の認知機能が低下します。

よく食べて栄養を取りましょう。

栄養、睡眠、運動が重要です。

老化対策を紹介します。

細胞から若返ります。栄養と負荷と睡眠で老化を防ぎます。まず、脳と血管について述べます。

脳と血管は、栄養を取ってから負荷をかけると、生き生きと新細胞で若返ると言われます。常に動くことが大切です。

脳の活性化は、刺激を適度に与えて、血流を増やすことです。

片方の親指と人差し指で、もう片方の指の爪の両脇を順番に10回ずつもむことです。親指は脳と結びついています。指は第2の脳と言われます。

血管は各細胞に酸素と体温を届けます。長さは10万キロ以上で、人体最大の臓器と言われます。ほとんどが毛細血管ですが、生命維持の重要な栄養と酸素運搬を担っています。血管が元気なことは内臓の活性化になります。

脳を刺激しましょう。血管を両脇叩きで活性化するのです。

笑いながら若返りましょう。

ホホハハハホホハハハ、ホホハハハホホハハハ、イエイ♪

コロナ禍で 話題の本

編集委員　**石河亮平**

サムシング・グレートが人類に働きかける コロナの暗号

人間はどこまで生存可能か？

村上和雄　著　幻冬舎　定価1、650円（税込み）

サッカーW杯カタール大会は別世界だ。歓喜に沸くスタジアム内外ではソシアルディスタンスもマスクもなく、コロナウイルスが一掃された別次元の空間のようだ。対照的に、中国では北京市や上海市などでは厳しい「ゼロコロナ」政策の長期化により覆面をした市民や学生の不満や怒りの抗議デモが起きている。「PCR検査不要」「習近平退陣」などという異例な事態に外出や店内飲食の規制を緩和し始めた。

他方、国内では観光地や予選通過に沸くサポーターらはほぼ100％がマスク姿だった。平時の経済活動にシフトし、水際対策を緩和しているが、足元では欧米の「トリプルデミック」（コロナ、インフル、RSウイルスの同時流行）が懸念される。

＊＊＊

小欄は最終回である。未知の見えないウイルスの恐怖をテーマにした社会派ミステリーやバイオSF、感染症小説、医療従事者ドキュメント、ワクチン・イベルメクチン問題、感染体験日記などをとりあげながら「正しく怖れる」ことを発信してきた。世界は賢く共存（ウィズコロナ）する時代となった。

最終回として村上和雄著「コロナの暗号」（幻冬舎）を選んだ。暗号に「大自然（神）は何を書き込んだのか。汚れていく地球とエゴ丸出し人類の関係を科学や宗教を超えた遺伝子の視点から問いかける。忘れてはならないのは自然の摂理に対する畏敬の念である。

＊＊＊

本書は警告の書だ。果てしない人類の欲望「モア・アンド・モア」の行き着く先は、人類自らの滅亡しかないと戒める。現代は地質学・生態学上の時代区分において「人類の新しい時代」（「人新世」）である。人類が「利己的な遺伝子に動かされている愚かな生物である」と指摘する著者は「遺伝子には〝利己的〟なものと〝利他的〟なものがある」と考え、「利他的遺伝子の存在が証明できれば、この窮地を脱する手がかりが得られるかも」と述べる。「人新世」時代は遺伝子レベルの「利他」がキーなのだ。

＊＊＊

本書の内容をちょっとだけ紹介すると―。

「私たちの地球はどこまで持続可能か」。果てしない人類の欲望が地球を滅亡させる。環境問題で使う「地球に優しい」ではなく「地球が優しい」のだ。人類がここで大きく発想を転換しなければ「成長の限界」どころか「生存の限界」に直面する。これが「人新世」の訴える問題点である。

進歩したつもりで「自然に勝ったといい気になっていた人類に、まだまだ勝てない存在がたくさんある。1つの証拠が今回のコロナ禍だ」としながら「新型危機」はまだまだ起こると警告する。人類がこの地球で存続するために「地球環境を奇麗にして、自らの肺胞細胞を生きやすくし、結果的に肺を守り、そして免疫力を強化する」、それで「自らの治癒できる可能性を広げること」につながるのだ。

このように考えると「この新型コロナは、より強い人類への新たな進化を促すものかもしれません」と説く。

地球規模で助け合うことだと「サムシング・グレート（偉大なる何ものか）」が人類に働きかけ、うながしているのだ。日本には古来から「利他の精神と和の文化」がある。ジャック・アタリが「利他主義という理想への転換こそが人類サバイバルのカギである」と指摘しているように、コロナ禍に対し人類は協力し合うチャンスでもあるのだ。その好例として「人間が社会生活を維持するうえで必要不可欠（エッセンシャル）な仕事に日本人の伝統的な利他的行動に基づく際立った献身的な活動」を挙げる。

「これからの世界で生きるには〝腹八分目〟や〝エシカル〟の考え方など、〝つつしみ〟が求められる」ことから、村上版「新3S」＝サイエンス（科学）、スピリチュアリティ（霊性）、サスティナビリティ（持続可能性）を提唱。「謙虚でつつしみ深い態度があれば、科学と技術は人間の心の成長に見合った形で適正に進歩し、持続可能な共存社会をつくるために役立つは」と強調する。

「つつしむ力」とは、「十分に持っていても、二割つつしんで、八割だけ使うという思想」と定義。この「つつしむ力こそが、新型コロナが暗示するメッセージであり、異常気象や大災害、新たな感染症など、地球の危機状況から私たち人類が読み取るべき重要な教訓なのです」と結ぶ。

＊＊＊

「全人類に対して、コロナの発したこの暗号（メッセージ）を、私たちは冷静に謙虚に読み解いていく必要があると、考えてこの本を書きました」という著者の遺言の書。遺伝子スイッチONで読み進めてみたい好著である。

広域

〝志〟のプラットフォームへ

第6回 METイノベーションサミット

「医療・障がい・身体の『技術』をテーマに、医師・医療技術支援企業・障がい者の自立支援を推進する団体などが集い、様々な問題について横断的に議論するシンポジウムが、11月28日・29日の2日間、衆議院第二会館（東京都千代田区永田町2）で開催された。

6回目にして初の東京開催となったMETイノベーションサミット（METイノベーション国際推進機構主催）では、「最新の義足技術」「国産手術支援ロボット『hinotori』」「国際医療人材の技術事情について」など、各分野の第一人者らが講演。会場には平日にもかかわらず政官財の各界などから多くの聴講者が訪れた。

過渡期を迎えるTwitterやFacebookというソーシャルメディア界において、世界初の持続可能な社会実現に取り組む研究者・起業家支援のためのオンラインサービス「ユニファイプラットフォーム＝UNIPLAT」について講演した寺田常徳株式会社ユニファイジャパン代表は、立ち上げの経緯について、みずからの起業の過程で知己を得た薬学や工学のポスドクたちが、素晴らしい技術を持ちながら全く異なる分野で就業せざるを得ない実情に触れ、彼らが持つそれぞれの能力を最大限に発揮するための9カ国語同時翻訳をはじめとした各国にあわせたカスタマイズなど、来春の世界展開に向けた取り組みを発表。

2日目には今年6月に初めて開催された障がい児らを遊園地に招待し思いっきり遊んでもらうイベント「インクルーシブ・スマイルデー」の2回目開催に向けて、パラリンアーティストの妹を持ち一般社団法人障がい者自立支援機構の理事を務めるタレントのセインカミュ氏や、ホースセラピーの第一人者である川嶋舟東京農業大学准教授らが会談。終回挨拶で同機構の萩原国博事務局長は「近代国家が、幕末の草莽たちの〝志〟によって創設されたように、このサミットが新しい時代の〝志〟のプラットフォームとなるよう、2025年大阪・関西万博に向けて進めていきたい」と抱負を語った。（池内文蔵）

牛のしっぽ Vol.45

意外とはかどる予習

本校は全く無名の進学校で、しかも彼は補欠入学。しかし高校3年で関東・関西最難関私学の合格圏内に近づいた彼は高3から放課後の自習を始め、しかも夜食まで持参。これに付き合わされた私もやむなく職員室で翌日の世界史授業の予習を始めました。

これまでは家に帰っての予習でしたが意外とこれがはかどり、印刷やコピーまで前日に完了します。しかし帰宅は毎日22時を回ります。定期考査ではしばしば彼が教室で試験勉強、私が職員室で問題作成です。私の試験問題はいわゆる「ヤマを張る」はできません。授業で教えた用語全部を出題します。問題数は120題です。これ以上は無理。問題を読む時間までなくなりますから。

2～3問題が足らなくなった時は教えていない用語を選択問題で出題しますが、正解する生徒もたまにいます。

（K・N）

100文字歴史小説

余計な口出し

作家・株式会社レブトン代表取締役　**真弓創**

「あんな大名、滅ぼしてしまいましょう」

「うむうむ」

茶々姫の口出しを何でも叶えようとする秀吉。

悩んだ重臣たちは相談の末、評定の場から強引に茶々姫を締め出すことにした。

「入れなさい！」

「茶々を入れるな！」

ロシアに翻弄されたウクライナ人の夫⑤

寄稿

大野紅子　神奈川県在住、40代女性

他人や他国のお金を使わず、自己責任で多くのお金をもっておくのは、いざ攻撃を受けたときのためではないでしょうか。

「誤解だ、誤解だ、あなたは何もウクライナのことを分かっていない。あなたは将来、中国も世界で一番になるのを分かっていない。それにまつわる戦争も起きるだろう」

17年前からよく言っていましたが、本当だったな、と今改めて思います。

プーチンは我々の人生を長期間台無しに

まさに今後5年後に台湾情勢はどうなるかという瀬戸際に実際になっております。

私が彼と別れ、私は娘と親と同居していますが、結局、「プーチン」という1人の男の影響力で、我々の人生をも長い期間台無しにしたと思うと、言葉も出ません。

これにより弁護士費用合計100万円、相談費用等で多くの無駄な出費が発生してしまい、時間もかなり経過してしまいました。彼の場合は人生のほとんどがプーチンによる影響下でダメージを受けて、私も2005年からこの話題で2022年2月まで人生自体にダメージを受け続けました。

私も、長いスパンでそこまでのことは見通していませんでした。ウクライナの歴史について知っていそうで知っていなかったこと、勉強不足だったことが悔やまれます。こういうことが分からなかったというのは、ウクライナ、ロシアの本当の関係・姿を全く分かっていないに等しいです。

今では私の親も、「まさかここまでプーチンがウクライナをやりこめるとは。だから彼はいつも逃げる態勢だったのね。人一倍、敏感で神経質だったのでは。食事内容も和食で神経質だった」と。

確かに健康には人一倍気をつかう人で、生野菜と魚、穀物を中心に食事し、私の母とはよく、ヨガの分野に限っては、話があっていました（私の母は藤沢市公認のヨガの先生です）。

母のヨガ指導を2005年に1度彼も受けていました（彼のお母様はお肉と白砂糖中心で健康には気を使っていませんでしたが）。

かつて彼は「ヴァイキングの一族によりキエフは創られたよ」と言っていましたが、皮肉にも3年前から私は都内の北欧系某大使館事務所で勤務しております。今ではその国で多くのウクライナ避難民の方は大切にしてもらっているようです。彼の知人の娘さんもその国へ避難するように誘導したこともありますが、今はポーランドでまずは試してみるとのことです。現在では日本のお客様をその国へお運びし、安全に旅をしていただく仕事を主にしておりますが、将来は、かつてのように、ウクライナに安心して日本のお客様を運べるようにできたらよいな、と思うところでもあります。

今後は、ウクライナの歴史、ロシアとの関係をもっと勉強していき、資金面で余裕が出てきたときに、ウクライナの復興に少しでも貢献できればと思います。

今までの17年間の誤解を埋めるためにも、このような行動は必要かと思います。

思うのは、日本人として、本当にロシアやウクライナを歴史観だけでなく「奥深いメンタル」まで理解するのは難しいということです。

最後に、日本はエネルギー分野で原子力等がまだ必要なのかもしれませんが、今後は地熱発電等日本の地理的優位性を生かした自然エネルギーをもっと見直し、活用した方がよいかと思います。

今回もかつての戦争も、すべて国の存続のためにエネルギーを獲得する目的が大部分だったかと思いますが、自国のみで賄える自然発電、まさに国連が掲げるSDGsですが、地熱発電等の分野を進め、他国（主にロシア）に頼らなくてもよいようにしていくべきかと思います。

福島原発もすべて廃炉になっておらず、全てを廃炉にするまで40年かかるそうなので、今後もウクライナの原発機関と連携しながら情報交換し、前に進めていかれるようにすべきかと思います。

（おわり）

疾病予防　早期治療へ活かす

医療用家系図 Genie Draw（ジニー ドロー）

プラクス株式会社社長 坂上　博俊さん

医療支援システム開発・販売を行うプラクス株式会社の坂上博俊社長（29）＝写真＝が抱く夢は大きい。

血縁者の医療情報を蓄積し疾病予防や早期治療へ活かすことができる医療用家系図Genie Draw（ジニードロー）を開発・販売している。これを使えば、多くの命が助かる。

令和元年6月から一部のがんゲノム医療が保険適用となった。このことにより、遺伝医療への関心が高まっている。これからの診察は、家系図をもとに診察・治療することが確実に増える。

ところが、パソコンで家系図を入力・作成するのはかなりの時間と手間がかかり、医師や事務員の負担が増える。そこで生まれたのが、ジニードローだ。医療用家系図に特化した機能を実装し、直感的に操作できる。診察時に患者にヒアリングしながら作成することも可能で、診察効率をアップさせることができる。

坂上社長は先天性小耳症で聴力がなかった。最新医療により人工鼓膜を入れることで聴力を得ることができた。医療に恩返ししたい気持ちが強く、近畿大学理工学部情報学科へ進み医療支援システムを学んだ。卒業後、近畿大学発ベンチャー認定企業として八尾市のインキュベートルーム（八尾商工会議所2階）で創業。その後、八尾市東山本町1の古民家に事務所を移した後、今の大阪市内へ。

ジニードローの必要性を感じた病院から問い合わせが増え、実際に使われ始めている。日本中の病院で使われる日も遠くない。

プラクス株式会社
社長　坂上博俊
大阪市北区天満橋3-3-5
天満インキュベーションラボ402号
TEL 06-6360-9296

人と人をつなぐことが天職

株式会社エム・アイ・エス取締役　安村之讃功さん

人材派遣・紹介業を展開する株式会社エム・アイ・エス取締役の安村之讃功（ひさとも）さん（60）＝写真＝。最近ではラジオ出演などでも引っ張りだこの安村

さんは自称・他称「あんそん」と呼ばれている。そして触れずにはいられないトレードマークが、胸元で光る「電光掲示板」。そこには「株式会社エム・アイ・エス、業界二十年、人材紹介なら、『あんそん』にお任せください」というメッセージが常に流れている。配色が6種類もあり、「あんそん」と出会う人は誰でもまず電光掲示板に釘付けになるという具合だ。

安村氏は笑顔で言う。

「人と人をつなぐことは私の使命、天職。人と会うのが好き。この仕事をしていて楽しい」

人材紹介にとどまらず、日頃より関わる経営者から「お悩み相談」を受けているうちに、「経営相談窓口」とも言われるようになった。

困ったことがあればなんでも解決してくれる。

（根岸健太郎）

株式会社エム・アイ・エス
取締役　安村之讃功
大阪市中央区平野町1-4-1-303
TEL 06-6575-7712
MOB 090-1130-4592

ユニークなエベッサおみくじ

共栄化学工業株式会社アクリル運動部

エベッサおみくじを持つ稲垣圭吾社長（右）

プロバスケットボールの試合を初めて観戦した記者は、興奮した。サッカーでも野球でも味わえない臨場感。大音量で声援と音楽が流れ、チアガールがミニスカートで頻繁に踊りまくる。パソコンゲームの世界へ飛び込んだ感覚だ。

11月19日、おおきにアリーナ舞洲（大阪市此花区北港緑地2）での大阪エベッサと富山グラウジーズの試合。ハラミをツマミにし生ビール片手に観戦。いつの間にか大声で声援を送っていた。

中休みに中央出入口の物販会場へ。タオルやTシャツなど、数多くのグッズが所狭しと並んでいる。その脇にエベッサおみくじなるものを見付けた。200円で引き、半券を賽銭箱に見立てたケースに入れる。試合後に当たりくじが発表され、景品と交換。なんともユニークなおみくじだ。

手がけているのは、共栄化学工業株式会社アクリル運動部（稲垣圭吾社長、八尾市山賀町4―63）。

大阪エベッサは負け、おみくじは当たらなかったが、またバスケットボール観戦に来たい気持ちで頭はいっぱいになった。

楽書楽読帳㊷

夢野悠人

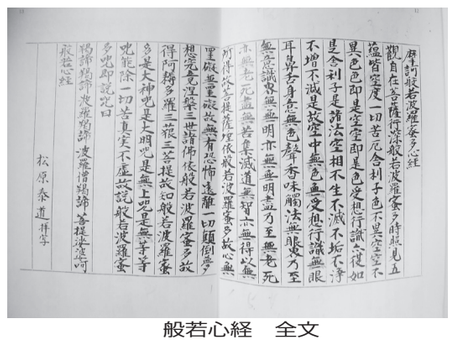
西郷は聖書を読んだのか

歴史書や歴史小説を読んでいると「なぜなのか」「もしかしたら」と想像の世界がふくらみ、新しい風景が広がる現場を訪ねたくなります。

今回は「敬天愛人」のルーツ探しです。沖永良部島へ流刑人として来ていた陽明学者・川口雪蓬（1819年～1890年）との出会いがなければ敬天愛人は生まれなかったでしょう。9歳年下の西郷に漢詩や書を教え、人間形成や思策にも大きな影響を与え、また、西郷が最も信じ頼りにしていたのが雪蓬です。西郷隆盛が非業の死を遂げた後も雪蓬は亡くなる71歳まで西郷家の留守居役と子弟の教育にも当たりました。現在、南洲墓地にある「西郷隆盛墓」の文字は雪蓬が書いたものです（㊳㊴参照）。

なんとなく「敬天愛人」には聖書の響きがありますので、もしかしたらキリスト教の教えではと…。釈迦が残した知恵の言葉「般若心経」の276文字のなかに「天」や「愛」はそれ見当たりません。陽明学の「知行合一」を実践する西郷は「言志四録」から自分が気に入った101条を抜き書きにして最期まで持っていたほどですから、もしかしたらと当たってみました（後に「南洲手抄言志録」）。

「言志録」第2条が



般若心経　全文

そのルーツです。

「太上（たいじょう）は天を師とし、其の次は人を師とし、其の次は経を師とする」―

「最も優れた人は天を師とし、次に優れた人は聖人を師とし、其の次に優れた人は書物を師とす」。岬龍一郎編訳「言志四録」（PHP）によると―。

〈「天」とは「自然」と言えるでしょう。

稲盛和夫氏が創業した京セラの社是「敬天愛人」には「天は道理なり、道理を守ることが敬天の意味であり、人は皆自分の同胞であり、仁の心を持って衆を愛することが愛人の意味である」と説いています。辞書では「天を敬い人を愛すること。〝敬天〟は天をおそれ敬うこと、〝愛人〟は人をいつくしみ愛すること。西郷隆盛が学問の目的を述べた語として有名」（「新明解四字熟語辞典」三省堂）と簡潔にして明快です。

何となくキリスト教の教えを感じざるを得ません。陽明学に心酔した西郷は「聖書」にも精通していたのでしょうか。

（つづく）

イートインは5年待ち

ラーメンスープ販売専門店　ら道本店　代表　水谷寿志さん

道を極めれば、自ずと哲学が生まれる。ラーメンに魅せられて四半世紀、ら道本店の水谷寿志代表（55）＝写真＝は究極のスープを提供する。

東大阪で生まれ育った水谷代表は高校卒業後、保険の仕事に就いた。営業で忙しく走り回る毎日で、昼食はスピーディーなラーメンが多くなった。ラーメンといってもさまざまな種類があることが分かり、ラーメンの魅力にはまっていく。

ある日、ぴあBOOK「本当においしい店　ラーメン101店」を知人からもらう。これを見ると、今まで食べたことのないラーメンがたくさんある。「全部食べたい」という好奇心から1店1店回ることに。ラーメンの食べ歩きを「ら道巡り」と称し、ラーメン好きの友人と一緒に〝ラーメン巡礼〟を始める。週に2、3日回り、1日に3、4店巡る。

1、400店を回った頃、ラーメンに関わる仕事をしたいという気持ちが頭をもたげる。忙しいラーメン店を開くのは性に合わないが、何かしたい。考えに考えた末、たどり着いたのがスープ作りだ。

30歳を前にして、試行錯誤しながら自宅の台所でスープ作りを始める。初めはうまくいかなかったが、研究を重ね納得いくものが出来た。友人に配ると好評で、「また欲しい」という声が方々から。

手応えを感じた。

台所では手狭になり、親戚のおばさんが持つ文化住宅を借りることに。ラーメンスープ販売専門店「ら道本店」の誕生だ。

そのうち、イートインを作ってほしいという声が上がるようになり、コーナーを設ける。たくさん来ても対応できないので、フェイスブック友だちだけを受け入れる。人気が広がり、2015年5月、毎日放送「ごぶごぶ」放送時点で5、000人以上待ち状態。現在でも数千人待ちで、5年待たなければイートインコーナーの〝聖地〟に足を踏み入れることができない。

ら道本店に魅せられたお客さんが堺店、キッチンカー店をそれぞれ開き、究極のスープを味わえる場所が増えた。さらに、布施スープ販売所、北田辺スープ販売所、堺北スープ販売店と広がっている。

スープは「ら道本店」フェイスブックページ、menjoyなどの通販サイトで買うことができる。また、阪神梅田本店（大阪市北区梅田1）でも好評発売中だ。

ら道本店
代表　水谷寿志
東大阪市花園東町
2-16-3-2F

小説　廃墟探訪

中森　臨時（北河内在住の小説家）

「ハヤトは幽霊って信じる？」

光源は2つの懐中電灯だけ。隣にいるサツキの表情はよく見えない。

「それ今聞くの」

日本海沿いにある廃ホテルの廊下に声が響く。最初は2人とも緊張から黙っていたが、探索を続けていてもゴミや落書きばかりで拍子抜けしつつあった。

「子どもの頃は怖がりなのに、夏のホラー特番とかは興味があって、よく泣いてた。でも今は信じてないかな」思い返せば、当時の心霊写真の多くはゴミや影を無理に幽霊と言っていた。それをなぜあんなに怖がっていたのだろう。

「一緒。結局、慣れなのかな。子どもの時って死はそんなに身近じゃないから、興味がわくし、怖いとも思う。でも歳を取るにつれて、死ってめっちゃ普通にならない？」

「なるなる。最近実家に帰るたびに、小さい頃に可愛がってくれた近所のおじさんが亡くなったとか、30そこそこの兄の同級生が亡くなったとか聞かされるようになった。不謹慎かもしれないけど、死ってこんなに普通なのかって思う。まだ親しい人が亡くなってないからかも」

窓からは、夜の真っ暗な日本海と今にも消えそうな数個の街灯が見える。

「私もいろいろあって、慣れちゃった。だからいてほしいな。幽霊」

暗闇の中で、寂しそうなサツキの顔が一瞬見えた気がした。

「ここって事故で何人も亡くなって、それでそんな酷い事故なんて起きてない。人気がなくなって潰れて、ほったらかしにされただけ」

「そっか。残念だ」

僕は歩みを止めた。サツキが少し前に出る。

「でもね、当時はここもかなり賑わってたらしいよ。恨みとか呪いとか、そういうマイナスの情念だけが残って幽霊になるのかな。楽しいとか満足とかのプラスの気持ちも幽霊になってほしいな」

僕はサツキの周りで何があったか知らない。聞いてはいけない、いや、聞いて一緒に悼む勇気がなかった。

サツキは進んでいく。さらに奥の暗闇の方へ、1つの心もとない明かりだけで。

「なるよ」

「えっ」

僕とサツキ、同時に声が出た。

「今のハヤト？」

サツキが振り返る。僕ではない。でも不思議と怖くはなかった。

「うん。きっとそんな幽霊もいるよ」

僕はサツキの方へ進む。光が2つあれば、この先も大丈夫だ。

新刊

ウクライナの未来を予見した詩集　あなたの家がどこかに残るように

ボグダン・パブリー　著　ドニエプル出版　定価2、970円（税込み）

あなたの家がどこかに残るように

ロシアがウクライナをミサイル攻撃。停電や断水などで集中暖房やエレベータの停止を狙い厳寒期の市民を兵糧攻めにする作戦だ。国連人権理事会は戦争犯罪の調査を表明した。ウクライナ国境を越えた避難民は1、400万人超という。停戦へ望を希求する絵柄の表紙だ。太陽がまぶしくウクライナは断固として侵攻すればするほどウクライナはロシアから離れてヨーロッパに向かう。2022年2月24日にロシアがウクライナに侵攻してから9カ月超だ。ロシアはウクライナのエネルギー関連のインフラ施設に侵攻すればするほどウクライナはロシアから離れてヨーロッパに向かう。2022年2月24日にロシアがウクライナに侵攻してから9カ月超だ。ロシアはウクライナのエネルギー関連のインフラ施設をミサイル攻撃。停電や断水などで集中暖房やエレベータの停止を狙い厳寒期の市民を兵糧攻めにする作戦だ。国連人権理事会は戦争犯罪の調査を表明した。ウクライナ国境を越えた避難民は1、400万人超という。停戦へ望を希求する絵柄の表紙だ。太陽がまぶしくウクライナ支援に充てます。

詩集「あなたの家がどこかに残るように」が11月、ドニエプル出版から発売された。青…空に薄絹がたなびくような雲とその裏でにぶく光る太陽。平和と希望を希求する絵柄の表紙だ。太陽がまぶしくウクライナ支援に充てます。

詩集「あなたの家がどこかに残るように」が11月、ドニエプル出版から発売された。青…空に薄絹がたなびくような雲とその裏でにぶく光る太陽。平和と希望を希求する絵柄の表紙だ。太陽がまぶしく輝く日はいつだろうか、とウクライナの未来を想像させる。

「穏やかに海に沈む太陽」は明日への希望を象徴するのか、海は母の胎内か。

〈多くの人を苦痛から救うことができるような気がする…／波に流され私は海に磨かれた白い貝殻のようになって／…神との対話が待っている／そこでは…心配しなくてよい〉

安堵させるが、一転して、次に現れるのは敵という現実だ。

〈敵によって引き裂かれた国／私が長い間離れていた最高の国、私が生まれた国に、若者が前線で、最前線で死んでいると信じるのは難しい／彼らは海を見たいのだ。この海を／太陽がゆっくりと沈む〉

表題の「あなたの家がどこかに残るように」は「日差しがあなたの目に当たる」「日差しが窓に当たる」と、昔に住んだ家だけは残したいと郷愁を誘う。最後の作品は「戦いが終わったら帰る機会を与えてくださるのか？」と問いかけ、「戦いが終わったら生まれ変わるチャンスはあるの？」と確認を求める。平穏な日常への回帰願望だ。

全23編は2019年から22年秋までの作品。自然風土を巧みに表現、著者の夫人による挿絵が効果的に配されている。ウクライナ入門書だ。

（石河亮平）

著者略歴
ボグダン・パブリー
1972年ウクライナの首都キーウの生まれ。キーウ国立言語大学日本語学科卒業。一橋大学大学院社会学研究科博士課程修了。2003年より日本在住。大学の教員。ウクライナ研究会会員、日本ウクライナ文化交流協会会員、ヨーロッパ・アジア言語文化研究所所員、日本ウクライナ友好協会NPO Kraiany会員。

八尾柏原版
八尾柏原支社
八尾市山本町南６－２－29
TEL 072－926－5134
FAX 072－921－6893

逆参観日

富士電子工業株式会社

社員の家族に会社見学に来てもらうという「逆参観日」が富士電子工業（渡邊弘子社長、八尾市老原6－71）で11月23日に開催された。

渡邊弘子社長

最近の子どもたちは親の働いている姿を見られない。親はお金だけを持って帰ってくる。どんな会社のどんなところで働いて何をしているか分からない。そんな子どもが多いなかで、親がこんな工場で働いているということを知るだけでも、親子の関係が少し良くなるのではないかとの思いから開催された。コロナ前に開催したかったが本社の建て替えが終わってからコロナになってしまい機会を失っていた。

今回やっと実現した。「11月23日は勤労感謝の日。この日を親に感謝する日と思ってもらえたら、ちゃんとした会社に入って親は働いているんだと感じてもらえたら嬉しい」と渡邊社長。今後、毎年11月23日に開催する予定だ。

目を輝かす子どもたち

電気は分からないことが多いが、電気って面白いと思ってもらえたら嬉しいと、会場に来た子どもたちにも分かりやすく説明する同社社員。1カ月前からのアナウンスで時間がないなか、社員の反応を聞くと、「子どもたちからワクワク感を持っていると聞いて、私たちもがんばろうと思えた」と。

大人30人、子ども38人の計68人の親子が集まった。東京、名古屋からの参加者もおり、交通費は会社が負担した。

2025年の万博で中小企業の関わり方を、ものづくりなでしこ代表として渡邊社長は考えている。

工場内には東京ビッグサイトで展示したロボット「ディオン君」が10万分の1の富士山に焼き入れをするところが見学できた。

ディオンとはギリシャ語で天国と地球。肩には鳥がいてピコリーノという。焼き入れ時には子どもたちがびっくりして喜びの声が上がった。

参加者の1人（39歳女性）は、「子どもたちはロボットも好きなので、ワークショップを楽しみにしていた」と話した。

ウクライナへカイロを送ろう
日本ウクライナ文化交流協会

八尾地区協力雇用主会　5団体へ寄附

八尾地区協力雇用主会（田中康正会長）は毎年チャリティーゴルフを開催し、5団体（八尾市こども若者政策課・八尾地区保護司会・八尾地区BBS会・NPO法人輝・夢うららほっとステーション）へ寄附を続けている。

左から大松桂右八尾市長、田中康正八尾地区協力雇用主会会長、山下義高同副会長

左から鷲真正八尾地区保護司会副会長、池田大興同会長、田中康正八尾地区協力雇用主会会長、山下義高同副会長、上田哲夫同副会長

左から鈴木哲也八尾地区BBS会会長、田中康正八尾地区協力雇用主会会長、山下義高同副会長、上田哲夫同副会長

継続しているこのチャリティー活動は多い時は300人を超える参加者があり、真心のこもった寄附を行ってきた。

コロナ禍で人数制限を余儀なくされ、あるいはどうしても開催を見送らざるを得ない年が1回だけあったが、それでもこの寄附活動だけは途切れることなく継続している。

田中会長はこうした更生保護活動に理解・協力してくれる人たちに勇気とエネルギーをもらい、あやまちをおかしてしまった人たちへの立ち直りを支える方法としてそれぞれに見合う「居場所」と「出番」を作ることを大切にし、これからも力強く活動することを約束した。

11月24日、八尾市役所本館5階秘書課応接室（八尾市本町1）で大松桂右八尾市長を通じ八尾市こども若者政策課への寄附贈呈式が行われた。

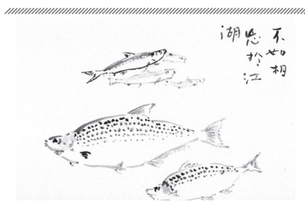
翌日はNPO法人輝（八尾市光町2、リノアス7皆）で八尾地区保護司会、八尾地区BBS会、NPO法人輝、夢うららほっとステーションへの寄附金贈呈式が行われた。

最後に五色建設株式会社（八尾市高美町2）からNPO法人輝に寄附金贈呈が行われた。

（植村眞一）

荘子と語る　二十九

大阪府立大学名誉教授
立命館大学教授
大形　徹


筆者作

死生の変化は運命による。夜が来て朝が来るという繰り返しの変化があるのは天道の自然による。

このように人の関与できないものがあるのが、世の中のものすべての実情である。人はただ「天」のみを父のようにみなし、それを敬愛する。そうであれば、「天」よりももっと卓れたものがあれば、それを敬愛しないわけにはいかない。

人はただ「君主」をおのれよりもすぐれた者とみなして、「君主」のために自らの身を犠牲にしようとする。それでは君主よりもすぐれた「真」なるものがあれば、そのために身を犠牲にしないわけにはいかないのである。

死生は命なり（一）

泉が涸れて、魚たちが干上がった泥の上にとりのこされ、湿った息を吐きかけあい、泡を吹きかけあったりすることは、ひろい江湖の水の中で、お互いの存在を知らないままでいるのには及ばない。聖王の堯を誉めて悪逆無道の桀をそしるよりは、堯も桀も忘れてしまって、大きな「道」に同化するのには及ばないのである。

大地は、われわれ（の魂）を載せるために肉体を与え、われわれを労めるために生を与え、われわれを安佚にさせるために老年を与え、われわれを休息させるために死を与えたのである。ゆえに（苦しいはずの）わが生を善しとする人は、（休息となる）わが死も善しとすることになるのである。

※大きな道に同化することの一つが死生の変化に従がうことなのであろう。

近鉄文化サロン上本町「荘子を読む」開講中

令和４年度納税表彰式
税務行政の円滑な運営に貢献

令和4年度納税表彰式が11月17日に八尾市文化会館プリズムホール小ホール（八尾市光町2）で開かれた。八尾税務署、公益社団法人八尾納税協会、八尾税務署管内納税貯蓄組合連合会の共催。

多年にわたり納税道義の高揚と税知識の普及ならびに地域社会の発展に尽力し税務行政の円滑な運営に大きく貢献した池尻誠氏、西村成広氏、平田和男氏が八尾税務署長表彰を受けた。

また、平素から租税教育の推進に努めるとともに、租税の役割や納税の義務について正しい税知識の普及に大きく貢献した八尾市立高美中学校が八尾税務署長感謝状を受けた。

さらに、八尾納税協会表彰、納税貯蓄組合連合会長感謝状、大阪国税局長表彰がそれぞれ授けられた。

表彰する今川和明八尾納税協会長

子どもたちの明るい未来のために
八尾市女性団体連合会 角田禮子会長が八尾市に寄附

子どもたちの明るい未来に貢献したいと語る角田禮子会長

消費者教育や社会的課題解決のため精力的に活動している八尾市女性団体連合会の角田禮子会長が、こども総合支援センター「ほっぷ」（10月24日オープン）の取り組みに対し八尾市へ100万円寄附した。子どもたちの明るい未来づくりや困難を有する子どものための取り組みを支援したいという熱い思いから。

寄附金贈呈式は11月21日に八尾市役所本館5階秘書課応接室（八尾市本町1）で行われた。これに対して、大松桂右八尾市長は感謝状を贈呈した。

寄附金については、こども夢基金に積み立て、八尾市の子どもがいきいきと成長できるよう、ほっぷでの取り組みに活用する。

なお、角田会長は11月に藍綬褒章を受章している。

年末年始イルミネーション点灯式
子どもたちに明るい街を！

年末年始イルミネーション点灯式

12月3日、土曜日の夜18時から、八尾本町2丁目公園（八尾市本町2－1－2）で「年末年始イルミネーション」の点灯式が行われた。主催は八尾ロータークラブ（栗山恭華会長）。

シャンパンカラーを中心とした1万球以上のLEDで、幻想的な夜間空間を華やかに演出。年末年始に向けて、防犯啓発を目的としており、今や季節の風物詩として定着している。「子どもたちに明るい街を！」という思いを込めて、平成29年から開催されており、NPO法人輝の協力のもと、もと、毎年大勢の子どもたちが集まり賑わっている。

点灯式では来賓の挨拶に続き、大松桂右八尾市長もかけつけ、イルミネーションを楽しみにしていたと語った。いよいよ点灯という瞬間には、参加者全員がツリーに視線を移し、10秒前からカウントダウンコールが始まった。徐々に全員の声が高まり、「点灯！」の掛け声とともに、植栽のネオンやクリスマスツリーのライトが一斉に点灯すると、その空間はクリスマスムードに早変わりし、大きな歓声と拍手が沸き起こった。

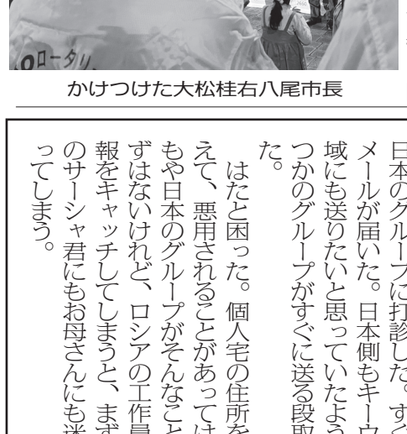
点灯式終了後は、サンタクロースに扮した大人たちから、子どもたち1人1人に声をかけながらお菓子やおもちゃのセットが配られた。袋一杯に入ったプレゼントを覗き込みながら保護者に自慢気に披露する子どもたちの姿を明るい笑顔と温かい笑い声が包んだ。

去年も参加したという川本陽子さん（40）は「子どもたちが何日も前から『点灯式はいつ？』と楽しみにしていた。点灯した瞬間、歓声を上げて大喜びをしている姿を見て、自分も嬉しくなった。プレゼントまでいただいて参加してよかった」と話した。

八尾本町2丁目公園は八尾市役所から北方向にすぐ近く、各方面からせわしく賑わう交通量の多い交差点沿いにある。忙しい人たちの夜道を綺麗な光で見守るイルミネーションは、子どもたちだけでなく、目にしたすべての人の心を温めてくれるだろう。

点灯期間は2023年1月中旬～末まで。

（北方円）


かけつけた大松桂右八尾市長

イベント情報

ウクライナ伝統刺繍 コスチュームデザイン展

刺繍生地の表と裏を鏡に映したように美しく針を進めていくウクライナ刺繍。ウクライナはもとより海外でも活躍しているオレーナ・ロマノワさんの作品を展示販売する。

■期　間　12月24日（土）～12月29日（木）
10：00～18：00　※最終日は15：00まで
■ところ　近鉄百貨店上本町10階
近鉄文化サロン上本町（近鉄大阪上本町駅直結）
■主　催　日本ウクライナ文化交流協会（TEL 072-926-5134）

12月24日11時～12時 ウクライナ文化紹介（講師：ボグダン・パプリーさん）
12月25日14時～15時 ウクライナ詩朗読会（講師：同上、Ono Akiさん）
12月26日11時～12時 ウクライナ現状報告（小野元裕会長）

連載小説
ウクライナを歩く ―― 210
小野元裕

使い捨てカイロで命が救われる

日本でいくつかのグループがウクライナへ使い捨てカイロを送るプロジェクトを立ち上げ、毎日のように段ボール箱が届く。

キーウのNGOに使い捨てカイロが送られているというニュースをインターネットで見つけ、リヴィウにも送ってもらうよう日本のグループに打診した。すぐに快諾のメールが届いた。日本側もキーウ以外の地域にも送りたいと思っていたようだ。いくつかのグループがすぐに送る段取りに入った。

はたと困った。個人宅の住所を日本に伝えて、悪用されることがあっては困る。よもや日本のグループがそんなことをするはずはないけれど、ロシアの工作員がその情報をキャッチしてしまうと、まずい。家主のサーシャ君にもお母さんにも迷惑がかかってしまう。

二つ返事で受け合ってくれた。

やはりイゴル先生は頼もしい。いつでも、どんな状況でも静かに状況を分析し、全力で協力してくれる。居合の達人だけあって腹が座っている。

2月からこれまでロシアはウクライナにミサイルを撃ち続け、今も終わることない。ミサイルの数は1万6000発以上。このうち97パーセントが民間施設を狙ったものだ。暖房用ボイラー施設や火力発電所など592施設が損傷。復旧作業が進んでいるものの、270以上の施設がそのままだ。

マイナス20度にもなる冬を越えることができず凍死する人が続出する可能性が大きい。凍死者が200～300万人出るという恐ろしい数字を上げる人もいる。

使い捨てカイロで救われる命が少なくない。

居候の身なので、慎まなければならない。

考えた末、リヴィウ工科大学日本センター長のイゴル先生に頼むことに。訪ねていくと、いつもと変わらない温かい表情で迎えてくれた。

「それはいいプロジェクトです。うちで引き受けましょう」

大声でつぶやく　けったいな町医者　14
長尾クリニック名誉院長・医学博士　**長尾和宏**

ネットニュースを見ていると懲りない面々による異口同音。なんなんだろうねこの人たち。岸田総理が早期ワクチン接種呼びかけ、吉村知事がコロナワクチン4回目接種を報告動画公開し、メリットの夜道を綺麗な光で見守るイルミネーションは、子どもたちだけでなく、目にしたすべての人の心を温めてくれるだろう。

打て打てドンドン一色

専門家や有名人やエライ先生もみんな口を揃えて打て打てドンドン一色。新聞に書いてあることはみんな同じ。

とにかく打て打て。今あるものを打て打て。僕のような異論はどこにも書いていない。まさに国策そのもの。

予定通りに第8波を作り予定通り在庫一掃セールは続く。なんだかなあ。この1年間喜劇を観ている感覚。僕には懲りない面々にしか見えない。懲りない源泉はいったいなんなんだろう。お金、洗脳、正常バイアス、ワクチン脳、無謬性の原則。

ワクチン中止もすべて真反対に動くばかりでついていけない。もとやっているけど。

とデメリットがあるが波の来る前に検討を、と。打てるワクチンを打ってと埼玉・大野知事が接種呼び掛け。

AI先生もみんな口を揃えて打て打てドンドン一色。新聞に書いてあることはみんな同じ。

とにかく打て打て。今あるものを打て打て。僕のような異論はどこにも書いていない。まさに国策そのもの。

予定通りに第8波を作り予定通り在庫一掃セールは続く。なんだかなあ。この1年間喜劇を観ている感覚。僕には懲りない面々にしか見えない。懲りない源泉はいったいなんなんだろう。お金、洗脳、正常バイアス、ワクチン脳、無謬性の原則。

ワクチン中止もすべて真反対に動くばかりでついていけない。もとやっているけど。

うやだよ。彼らが懲りないのか、僕が懲りないのか。そんな僕が懲りない面々に何を言えば少しは聞いてくれるのかな。ずっと言っているけどもこれは天動説と地動説。ガリレオは死後に正しいことが証明されたけど、今回の騒動はどちらが正解なのか永遠に明らかにされないまま終わるのだろう。

A級戦犯も殺人集団も国を壊す人たちも結局これでよかった勝利したバンザイで終わるのだろう。

本当に勝利ならそれでいいけれど、僕は完敗にしか感じない。僕が毎日現場で診ているワクチン後遺症患者さんを全部捏造だと叩く知らない医師たちと議論の機会すらない。そんなストレスを晴らす方法は睡眠、運動、音楽、酒なのか。まあ、ずっ

Ono Aki CDブック「ウクライナ2.24 5a.m.」発売
日本ウクライナ文化交流協会
ウクライナに平和を
2023年2月24日（金）
八尾市文化会館 プリズムホール 小ホール（八尾市光町2-40）

ウクライナ支援　日本ウクライナ文化交流協会主催
開場 17:30　開演 18:30
一般全席指定　前売 3,000円　当日 3,500円
収益金の一部はウクライナ人道支援に寄付されます
お問い合わせ・チケット販売　日本ウクライナ文化交流協会
TEL 072-926-5134　mail : info@nichiu.org

PRISM HALL 八尾市文化会館
チケットのお求め お問い合わせ
プリズムホールチケットカウンター ☎ 072-924-9999
プリズムホールウェブサイトチケット http://prismhall.jp/
※中学生以下のお子様のご入場はご遠慮願います　※車椅子でお越しの方は事前にご連絡をお願いします

アクリル加工の職人集団
共栄化学工業 株式会社
TEL 072-922-1681 FAX 072-923-4879
〒581-0812 大阪府八尾市山賀町 4-63　http://kyoeikagaku.com
設備概要　加熱炉：加工最大サイズ 2400×1800ミリ
曲げ厚み限度：ポリカーボネート10ミリ、アクリル30ミリ
レーザー加工機：加工最大サイズ2000×1500ミリ
カット厚み限度：アクリル20ミリ
創業70周年を記念して
YouTubeチャンネルを開設しました！
【アクリル伴ちゃんねる】
お祭り好き工場長による、アクリルのタメになる情報を毎週お届け！

SDD
STOP! DRUNK DRIVING PROJECT
FM大阪
楽しかった時間も一瞬で人生が変わってしまう飲酒運転、絶対ダメ。　飲酒運転はあなただけの問題ではない。相手、相手の家族、自分の家族・・・大切な人たちがすべて不幸になります。　気持ちを強く持てば飲酒運転は必ず防ぐ事が出来る、1人でも被害者、加害者にならない為にも大切な命を守ろうよ。　ちょっとした気の緩みが自分や大切な人たちを不幸にしてしまいます。幸せな毎日が送れますように、飲酒運転撲滅目指しましょう。　お酒を飲める歳になったからこそ考え直したい。飲酒運転の怖さを！自分から周りの人たちに発信していこう。　当たり前のことを当たり前にやろうよ。いい大人なんだから。　大切な命を守る為に、お酒飲んだら運転しない。　なんでわかってるのに飲むのかな？後悔してももう遅いで！
「あなたには何ができますか？飲酒運転をなくすために。」
ストップ！ ドランク ドライビング！！
八尾トーヨー住器株式会社は、SDDプロジェクトのパートナーです。
YAO TOYO JUKI 八尾トーヨー住器　sopra home creation　FM大阪 LAUGH & MUSIC! 851